

現場関係者がお手柄  
。足を滑らせて豊平川  
に落ちた小学生を救助し  
た工事関係者ら3人に対  
し、11日、白石消防署の

市川弘署長から感謝状が  
贈られた。

## 現場関係者 お手柄



小学生を救ったのは、  
横田建設の作業員三宅和  
樹さん(42歳)、ニッコー  
保障の警備員兼田雅則さ  
ん(41歳)、人材派遣会社  
社員・アスクゲートトラ

## 水難救助の3人に感謝状

ストの岩城雄太さん(29  
歳)。

事故は10月21日午後3  
時40分ごろ、白石区米里  
の環状北大橋付近で、遊

市川署長から感謝状を受  
ける(右から)兼田さん、  
三宅さん、岩城さん

んでいた小学生が足を滑  
らせて落水し、川に流さ  
れたもの。

ちょうどこの付近で市  
発注の環状北大橋補修  
(施工II田中組・若杉商  
会共同)の下請けとし  
て、クレーン付き4ト  
トラックの荷台で資材の荷

下ろし作業をしていた三  
宅さんが発見。同じ現場

で警備に当たっていた兼  
田さんが川の中に入って  
小学生を救い出した。別  
業務で偶然通り掛かった

岩城さんは、川に落ちた  
子どもに気付き、車を止  
めて現場に急行。状態を

確認し、119番通報し  
た。

水深1・2メートルで、流速  
2メートルで水温も低かったが  
兼田さんは「救出するま  
で冷たきも感じなかつ  
た」と振り返る。

連携した迅速な救助に  
より、小学生はほとんど  
水を飲むこともなく、検  
査入院後すぐに退院。元  
気に通学していることを  
聞き、3人とも「大事に  
至らないで良かった」と  
安堵(あんど)の表情を  
浮かべていた。

感謝状と記念品を贈つ  
た市川署長は「地域の安  
全は地域が守るという立  
場で、模範になる取り組  
み」とたたえた。